

2026年8月7日

地方創生

インパクト志向金融宣言の最新レポートにかんだまちおこしが支援する 岐阜県白川村の酒蔵建設プロジェクト「白川村の蔵」が掲載されました

十六フィナンシャルグループのカンダまちおこし（以下「当社」といいます。）は、地域課題の解決を目指し、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

今般、当社が支援する岐阜県白川村の酒蔵建設プロジェクト「白川村の蔵」が、インパクト志向金融宣言の最新レポート「地域のシステムチェンジに向けたアプローチとシステムチェンジファイナンスの考え方 ～地域金融機関に期待される役割と実践のプロセス～」に掲載されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は今後も地域のシステムチェンジを推進する伴走者として、新たな地域価値の創出と持続可能なまちづくりに貢献してまいります。

記

1. 概要

本レポート「地域のシステムチェンジに向けたアプローチとシステムチェンジファイナンスの考え方」の「第5章 まとめと今後の論点」で、当社が支援する岐阜県白川村の酒蔵建設プロジェクト「白川村の蔵」が取り上げられました。

2. 評価された当社の取組み

地域金融機関にとって、個別の融資を積み上げる従来型のモデルから脱却し、地域の構造変化そのものに関与することは、自らの投融資基盤を守り新たな資金需要を創出するための重要な経営課題となっています。

当社の取組みはまさにこの実践として評価されており、地域課題を生み出している構造にどのように働きかけているかという観点から、構想・設計期から自己強化・展開期に至る事例として紹介されています。

3. 掲載内容

岐阜県大野郡白川村「白川村の蔵」

[概要版（18頁に記載）](#)

[Full版（17頁、18頁に記載）](#)

以 上